

「小児外科」第 55 巻（第 1～12 号）総目次

（2023 年 1 月～2023 年 12 月）

（ ）内は号数

〔特 集〕

■胎児治療の進歩と今後の展望

胎児治療の歴史	吉澤穰治
中神智和・川野晋也・渡井 有	4(1)
わが国の胎児治療の実態	
遠藤誠之・祝 小百合・和田誠司	
高橋雄一郎・石井桂介・村越 毅	
中田雅彦・室月 淳・左合治彦	9(1)
胎児治療が想定される胎児疾患の	
超音波診断	市塚清健
奥山亜由美・瀬尾晃平・長塚正晃	15(1)
胎児に対する麻酔管理	野口翔平
	20(1)
新生児三次元心エコー検査による先天性横	
隔膜ヘルニアの重症度評価	豊島勝昭
	24(1)
先天性横隔膜ヘルニアに対する FETO の	
現状	和田誠司・室本 仁・杉林里佳
小澤克典・遠藤誠之・左合治彦	30(1)
HIFU を用いた先天性横隔膜ヘルニア	
バルーン閉塞解除術	
大澤俊亮・渡井 有・佐藤英章	
中山智理・田山 愛・中神智和	
安藤晋介・木村翔大・安達 聖	
富永美璃・尾方信仁	36(1)
胎児胸腔羊水腔シャントの適応と方法	
長崎澄人・中田雅彦	42(1)
胎児胸腔－羊水腔シャント術の市販後調査	
高橋雄一郎	46(1)
脊髄髄膜瘤胎児手術の子宮切開法	
渡邊美穂・遠藤誠之	51(1)
脊髄髄膜瘤胎児手術の治療	
香川尚己・渡邊美穂・遠藤誠之	56(1)
羊水過多に対する羊水除去療法	
山本 亮・石井桂介	64(1)
羊水過少に対する羊水注入療法	
佐久間淳也・中田雅彦	68(1)
胎児尿路疾患における羊水注入療法	
小野ひとみ・高橋雄一郎	71(1)
胎児膀胱鏡の有用性	山本 亮・石井桂介
	77(1)

先天性水腎症に対する胎児治療	
米倉竹夫・山内勝治・木村浩基	
中島賢吾・古形修平	81(1)
尿管瘤に対する胎児治療	
山本 亮・石井桂介	88(1)
胎児大動脈弁形成術	
小澤克典・和田誠司・左合治彦	91(1)
胎児輸血の適応と方法	
葉室明香・池ノ上 学	96(1)
TTTS に対する胎児鏡下胎盤吻合血管	
レーザー凝固術 (FLP)	村越 毅
	100(1)

■腸内細菌を学ぶ

総論

日本人の腸内細菌叢	内藤裕二
	116(2)
新生児の腸内細菌	久田 研
	120(2)
幼小児期の腸内微生物叢の発達	
三好 潤・久松理一	125(2)
腸内細菌と免疫	大野博司
	129(2)
母乳と腸内細菌	大野祥恵・永田 智
	135(2)
腸内細菌とアレルギー	成田雅美
	141(2)
栄養	橋詰直樹・田中芳明・加治 建
	146(2)
便プロテオーム解析	
渡辺栄一郎・川島祐介・柿原 知	
設楽佳彦・斎藤 傑・香川礼子	
紺野 亮・石川将己・高見尚平	
清水泰岳・松本恭明・福家辰樹	
高澤慎也・西 明・新井勝大	
野村伊知郎・岡田 賢・高橋尚人	
小原 収・藤代 準	150(2)

疾患

腸内細菌と小児疾患	金子一成
	158(2)
急性虫垂炎	
生田 稜・早川 智・越永従道	165(2)
Hirschsprung 病	田中 彩・下野隆一
	169(2)
小児の腸管不全と腸内細菌	藤井喬之
形見祐人・田中 彩・下野隆一	173(2)

小腸瘻造設または大腸欠損となった小児外科疾患患者の腸液の細菌叢・有機酸分析 ……………金森 豊・渡辺稔彦・矢矧加奈 原 妙子・辻 浩和・松木隆広……………182(2)	腸管神経節細胞僅少症に対する小腸移植における術式の検討……………城崎浩司 伊藤よう子・前田悠太郎・山岸徳子 工藤裕実・金森洋樹・高橋信博 加藤源俊・山田洋平・黒田達夫……………280(3)
腸内細菌叢と潰瘍性大腸炎 ……………丸山貴史・石川 大・永原章仁……………187(2)	先天性胆道拡張症に対する臍部小切開による胆道外瘻造設術後の二期的根治術 ……………藤村 匠・矢内俊裕・小林めぐみ 早野 恵・平井みさ子・清水奈央 松本 敦・鈴木 信・佐々木 章……………285(3)
Crohn 病……………馬場重樹……………191(2)	体重 1,500 g 未満で出生した鼠径ヘルニア男児症例に対する LPEC + Potts 法の有用性 ……………末吉 亮・世川 修・石井惇也 古橋七海・牧 ゆかり・山口隆介……………291(3)
胆道閉鎖症と腸内細菌 ……………坂本早季・深堀 優・橋詰直樹 八木 実・加治 建……………199(2)	腹腔鏡下に治療しえた腹腔内精巣を伴った interparietal hernia の 1 例 ……………田中正史・高見澤 滋・好沢 克 笠井智子・田中聡志……………296(3)
腸内細菌と敗血症……………山岸由佳……………204(2)	ロボット支援後腹膜鏡下 diamond bypass 腎盂形成 ……………宮野 剛・飯田寿恵・恵畑 優 加藤春輝・阿部江莉・三上敬文 石井惇也・山高篤行・岡崎任晴……………302(3)
治療	腎盂尿管移行部狭窄の術後再々狭窄に対し結腸間置尿管再建を施行した 1 例 ……………中島秀明・古賀寛之・碓 真雄 越智崇徳・瀬尾尚吾・山高篤行……………308(3)
経口バイオティクス……………佐藤真教・清水俊明……………209(2)	近位尿道下裂術後再屈曲に対しダブルグラフトによる陰茎尿道再建を行った 1 例 ……………大橋研介・多田 実・吉澤信輔 石塚悦昭・内田豪気・渡辺あずさ……………314(3)
漢方薬……………小川恵子……………214(2)	腹腔鏡下性腺血管延長術の tips ……………益子貴行・矢内俊裕……………320(3)
抗菌薬と腸内細菌……………赤川友布子・金子一成……………222(2)	Hemi-clamshell approach による前縦隔腫瘍切除術……………文田貴志・照井慶太 坂入祐一・武之内史子・小松秀吾 笈田 諭・吉澤比呂子・平野祐一 吉野優作・吉野一郎・菱木知郎……………324(3)
周術期の抗菌薬……………柴田涼平 照井慶太・武之内史子・小松秀吾 笈田 諭・吉澤比呂子・菱木知郎……………228(2)	腹腔内嚢胞性腫瘍に対する手術の工夫 —覆布接着による内容液漏出の予防— ……………上松由昌・田中 潔・高安 肇 渡部靖郎・小川祥子……………328(3)
糞便移植……………清水泰岳……………233(2)	
■共有したい術式および手術経験：手術のポイントや工夫	
巻頭言 小児外科における共有したい術式および手術経験……………矢内俊裕……………252(3)	
リアルタイムエコー下穿刺による PICC 挿入……………鎌田悠子・岡本健太郎 水野裕貴・伊藤佳史・西潟 綾……………255(3)	
Fibrous sheath 法による長期留置型中心静脈カテーテル入れ替え ……………馬場勝尚・小野 滋・薄井佳子 辻 由貴・關根沙知・坂野慎哉……………261(3)	
先天性気管狭窄症に対するスライド気管形成術のポイントと工夫……………下島直樹 下高原昭廣・富田紘史・廣部誠一……………264(3)	
複数回の手術を行い、安定した経過が得られている Floyd II 型気管無形成の 1 例 ……………大山 慧・古田繁行・西谷友里 田中邦英・新開統子……………270(3)	
皮弁作製による喉頭気管分離術：術後気管皮膚瘻の減少を目指して ……………津久井崇文・福本弘二・矢本真也 三宅 啓・野村明芳・金井理紗 大林樹真・根本悠里……………276(3)	

経会陰的アプローチが有用であった直腸腔 間隙に再々発した神経鞘腫の1例 ……………一瀬諒紀・高澤慎也・吉田真理子 竹添豊志子・筒野 喬・小嶋重光 鈴木啓介・藤代 準……………334(3)	Prader-Willi 症候群……………大橋研介・吉澤信輔 内田豪気・大場大樹・大橋博文……………428(4)
腹腔鏡・腔鏡を併用し posterior sagittal approach で切除した腔原発卵黄嚢腫瘍の1例 ……………狩野元宏・米田光宏・小関元太 齋藤 傑・橋詰直樹・藤雄木亨真 渡辺栄一郎・山本裕輝・藤野明浩 金森 豊……………339(3)	Prune belly 症候群……………野口侑記・吉田眞之 松本紗矢香・堺 貴彬・松浦 玲 梅田 聡・銭谷昌弘・臼井規朗……………433(4)
■小児外科疾患に関連する症候群	Sandifer 症候群……………関岡明憲 福本弘二・矢本真也・太田秀一 伊藤鉄夫・水上 陽・壺井邦彦 岡村昌彦・李 悠・石田 叡 庄野容子・沈 由剛・足立幸人……………440(4)
13trisomy・18trisomy ……………高橋正貴・泊 卓志・谷 有希子 大石芳久・中尾 厚・尾花和子……………352(4)	Simpson-Golabi-Behmel 症候群……………米田光宏 小関元太・齋藤 傑・橋詰直樹 藤雄木亨真・狩野元宏・山本祐輝 石丸哲也・藤野明浩・金森 豊……………444(4)
21trisomy ……………藤雄木亨真・石丸哲也・金森 豊……………359(4)	VACTERL 連合……………小野 滋……………448(4)
ATR-X 症候群……………渡辺稔彦・森 昌玄 小松崎尚子・梅山知成・佐々木 彩 堀江貴哉・鄭 絵里・平川 均……………363(4)	Waardenburg 症候群……………亀岡泰幸・花房宏昭 大片祐一・岩渕瀬怜奈・吉村翔平 渡部 彩・植村光太郎・富岡雄一郎 鯨島由友・中井優美子・尾藤祐子……………454(4)
Bardet-Biedl 症候群……………藤村 匠・西袋剛史 三島芳紀・朝戸信家・上牧 勇……………368(4)	4p 欠損症候群 (Wolf-Hirschhorn 症候群) ……………佐藤英章・渡井 有・田山 愛 中山智理・大澤俊亮・木村翔大 富永美璃・安達 聖・中神智和 尾方信仁……………458(4)
CHARGE 症候群 (CHD7 疾患)……………高安 肇……………372(4)	■ロボット支援手術
Costello 症候群……………吉澤信輔……………378(4)	ロボット支援手術の歴史……………宇山一朗 柴崎 晋・田中 毅・芹澤朗子 中内雅也・稲葉一樹・須田康一……………468(5)
Currarino 症候群……………金森大輔 宮國憲昭・杉原哲郎・梶 沙友里 大橋伸介・黒部 仁・芦塚修一……………381(4)	da Vinci サージカルシステム ……………萩原 優・池田徳彦……………473(5)
Cornelia de Lange 症候群 ……………高山勝平・瀧本篤朗・金 聖和 文野誠久・青井重善・小野 滋……………385(4)	hinotori™ サージカルロボットシステム ……………日向信之……………478(5)
Ehlers-Danlos 症候群……………古金遼也・藤野明浩……………390(4)	センハンス・デジタルラパロスコピー・ システム……………佐々木貴浩 古畑智久・古田繁行・大坪毅人……………482(5)
Haddad 症候群 ……………四本克己・照井エレナ・富田美佳……………394(4)	ロボット支援手術と診療報酬 ……………岩中 督・隈丸 拓……………486(5)
HHW 症候群と OHVIRA 症候群 ……………東間未来・益子貴行・矢内俊裕……………399(4)	成人領域における現状と展望 ……………三代雅明・沖田憲司・奥谷浩一 秋月恵美・石井雅之・三浦 亮 市原もも子・古来貴寛・竹政伊知朗……………490(5)
Li-Fraumeni 症候群……………金 聖和 文野誠久・青井重善・小野 滋……………406(4)	小児領域における問題点と展望 ……………古賀寛之・山高篤行……………494(5)
Methimazole embryopathy……………加藤絃隆 合田太郎・三谷泰之・川井 学……………411(4)	小児外科領域におけるプロクター制度 ……………内田広夫……………497(5)
OES complex ……………梅山知成・狩野元宏・黒田達夫……………415(4)	
Peutz-Jeghers 症候群……………古田繁行……………420(4)	
Pfeiffer 症候群 ……………山根裕介・篠原彰太・大野田 貴 石井 生・大関圭佑・永安 武……………425(4)	

AI とロボット支援手術の融合	中島清一・牛丸裕貴	502 (5)
小児外科におけるロボット手術支援下の 麻酔—胆道手術を基に—	林 愛・西村欣也	507 (5)
肝胆膵領域におけるロボット支援下手術の educational システム	小蘭真吾・瀧下智恵・刑部弘哲 木谷嘉孝・末松友樹・林 豊 四柳聡子・長江逸郎・永川裕一	510 (5)
ロボット支援下手術に対する看護師教育 プログラム	梅澤雄一	516 (5)
臨床工学技士（CE）による da Vinci 手術 環境の構築	菅田岳洋・佐々木慎理・高山 綾	521 (5)
小児外科領域における次世代手術支援 ロボット開発—Soft Robotics の可能性—	家人里志・山田耕嗣・大西 峻 村上雅一・矢野圭輔・岩元祐実子 緒方将人・高田 倫・祁答院千寛 杉田光士郎・春松敏夫・山田和歌 川野孝文・武藤 充	525 (5)
新生児外科手術を対象とした手術ロボット 開発への期待と展望	高澤慎也	532 (5)
米国に学ぶ小児ロボット手術普及に向けた 道のり	矢田圭吾・出口晴教・亀岡泰幸 吉村翔平・梅山知成・右田美里 迫田晃子・町頭成郎・松藤 凡	536 (5)
ロボット支援手術：各論		
胆嚢・脾臓摘出術	中目和彦 Laurent Fourcade・Alexis Arnaud 榊屋隆太・七島篤志・家人里志	539 (5)
ロボット支援下胆管切除術	牧田 智・内田広夫・住田 互 檜 顕成・城田千代栄・田井中貴久 天野日出・滝本愛太郎・高田瞬也 中川洋一・合田陽祐・前田拓也 郭 垚輝・劉 佳慧	544 (5)
縦隔腫瘍摘出術	古賀寛之・越智崇徳・山高篤行	552 (5)
小児膀胱尿管逆流ロボット手術	水野健太郎・西尾英紀・林 祐太郎	556 (5)
腎盂形成術	佐藤雄一・桐花悠介 長谷川暁久・吉田祐樹・今井仁美 松岡香葉子・星 誠二・小島祥敬	562 (5)

低侵襲ドナー肝切除の世界的な現状と日本 における保険適用	伊藤 望 若林大雅・藤山芳樹・賛 裕亮 青柳裕太郎・原島 諒・勅使河原優 間中敬介・松村 光・若林 剛	566 (5)
■今日の小児肝移植		
世界における臓器移植の展開	笠原群生	588 (6)
小児移植の問題点と今後の展開	山田洋平	592 (6)
小児移植コーディネートの現状と課題	伊澤由香	596 (6)
胆道閉鎖症に対する肝移植—治療成績と QOL 向上のための小児外科医の役割—	水田耕一・井原欣幸・納屋 樹 田村恵美	599 (6)
胆道閉鎖症年長例に対する肝移植の現状と 問題点	佐々木英之	605 (6)
胆道閉鎖症移行期症例に対する肝移植の 治療成績と適応	眞田幸弘 佐久間康成・大西康晴・脇屋太一 岡田憲樹・平田雄大・堀内俊男 片野 匠・大豆生田尚彦・高寺樹一朗 関谷菜津美・吉田幸世・佐田尚宏	609 (6)
葛西術後成人期移植症例の予後因子	越智崇徳・武田昌寛・山高篤行	618 (6)
遺伝性疾患に対する小児肝移植症例の 移行期医療上の問題	小川絵里・門久政司・山本美紀 上林エレナ幸江・園田真理 岡本竜弥・岡島英明・波多野悦朗	622 (6)
Langerhans 細胞組織球症に伴う肝線維化に 対する移植	梶原啓資・松浦俊治・前田翔平 内田康幸・鳥井ケ原幸博・河野雄紀 玉城昭彦・濱田 洋・日野裕子 孝橋賢一・小田義直・田尻達郎	626 (6)
小児悪性肝腫瘍に対する移植治療	阪本靖介・内田 孟・福田晃也 笠原群生	631 (6)
右房内腫瘍栓を伴う肝芽腫症例に対する 肝移植	井原欣幸 水田耕一・小俣佳菜子・納屋 樹	636 (6)
小児急性肝不全（劇症肝炎）に対する 移植治療	福田晃也 内田 孟・阪本靖介・笠原群生	643 (6)

小児期肝移植後の <i>de novo</i> 悪性腫瘍 ……………岡本竜弥・門久政司・山本美紀 上林エレナ幸江・園田真理 小川絵里・岡島英明・波多野悦朗……………648 (6)	Superb Micro-vascular Imaging を用いた急性 虫垂炎における虫垂壁の血流評価 ……………小坂征太郎・東間未来・浅井宣美 益子貴行・矢内俊裕……………730 (7)
PTLD に対する治療の課題……………平田雄大 眞田幸弘・大西康晴・脇屋太一 岡田憲樹・堀内俊男・大豆生田尚彦 高寺樹一朗・佐久間康成・佐田尚宏……………654 (6)	Antibiotic-free treatment ……………東間未来・矢内俊裕・益子貴行 浅井宣美・弘野浩司……………734 (7)
胆道閉鎖症に対する生体肝移植後の胆管 合併症の管理……………本田正樹・嶋田圭太 磯野香織・菅原寧彦・日比泰造……………660 (6)	周術期抗菌薬—非穿孔性虫垂炎に対する腹 腔鏡下虫垂切除術における周術期抗菌薬 プロトコール—……………小関元太・柴田涼平 中田光政・照井慶太・西村雄宏 小松秀吾・笈田 諭・川口雄之亮 廣川朋矢・菱木知郎……………738 (7)
小児生体肝移植後の神経学的合併症 ……………内田 孟・福田晃也・阪本靖介 笠原群生……………665 (6)	急性虫垂炎における糞石と虫垂内嫌気性菌 の関係……………渡邊 峻 松寺翔太郎・山口岳史・荻野 恵 鈴木 完・中島政信・森田信司 中村隆俊・土岡 丘・小嶋一幸……………743 (7)
小児期発症原発性硬化性胆管炎の病態と 肝移植の適応 ……………十河 剛・梅津守一郎・乾 あやの……………670 (6)	小児急性虫垂炎患者における切除虫垂内細 菌培養と直腸部便細菌培養に関する検討 ——一般細菌培養検査でわかること—— ……………向井 亘・花木祥二郎・采原隆志 宮田 豪・高田知佳・浮田明見 人見浩介・高橋雄介・中原康雄 後藤隆文・青山興司……………746 (7)
小児肝移植後の再移植 ……………岡島英明・園田真理・川島真由美 小川絵里・岡本竜弥・波多野悦朗……………674 (6)	複雑性虫垂炎の緊急手術……………田井中貴久 城田千代栄・住田 互・横田一樹 牧田 智・岡本眞宗・小柳地洋 長島俊介・檜 顕成・内田広夫……………751 (7)
肝移植後の妊娠・出産……………富田紘史……………679 (6)	複雑性虫垂炎の内視鏡手術 ……………北原修一郎・吉澤一貴……………756 (7)
非移植施設からみた肝移植の課題について —肝小腸異時移植症例の管理経験から— ……………武藤 充・大西 峻・矢野圭輔 高田 倫・岩元祐実子・緒方将人 祁答院千寛・村上雅一・杉田光士郎 春松敏夫・川野孝文・大浦飛鳥 東小藺未弥子・佐々木文郷・西川拓朗 上村修司・家入里志……………684 (6)	Interval appendectomy の適応 ……………小林 隆・木下義晶……………760 (7)
■急性虫垂炎：診断、治療、研究	Interval appendectomy の功罪 ……………古田繁行・大山 慧・川口拓哉 西谷友里・森田康太郎……………764 (7)
小児急性虫垂炎診療ガイドラインと今後の 展望……………川瀬弘一 内田正志・内田恵一・谷水長丸 廣部誠一・矢ヶ崎英晃・渡部誠一……………696 (7)	腸回転異常症手術時の虫垂切除 ……………深堀 優・伊勢一哉・下島直樹 高間勇一・田中芳明・金森 豊……………768 (7)
新生児の虫垂炎……………田中秀明……………699 (7)	小児腹腔鏡下虫垂炎手術における局所浸潤 麻酔と腹直筋鞘ブロック……………横山智至……………772 (7)
乳幼児の急性虫垂炎 ……………直江篤樹・井上幹大・鈴木達也……………704 (7)	小児急性虫垂炎における周術期体組成変化 ……………吉田 索・浅桐公男・坂本早季 中原啓智・山下晃平・朝川貴博 石井信二・七種伸行……………777 (7)
PAS の活用/AAST 分類を用いた急性虫垂炎 の重症度評価……………藤井喬之 形見祐人・田中 彩・下野隆一……………708 (7)	
診療初期段階における小児複雑性虫垂炎の 予測因子……………宮内玄徳 大片祐一・畠山 理・尾藤祐子……………714 (7)	
「やぶれそうな」虫垂炎をエコーで診断する ……………吉元和彦……………721 (7)	
小児虫垂炎の画像診断……………藤川あつ子……………725 (7)	

DIC を発症した非穿孔性急性虫垂炎の

- 小児例……………金川 勉・河崎正裕
豊岡晃輔・白石昌弘・長谷川真成……782(7)
免疫抑制状態における虫垂炎
……………福田篤久・田尻達郎……787(7)
新型コロナウイルスの影響と対策
……………金森大輔……792(7)

■希少固形がんの診断と治療

- 巻頭言……………米田光宏……812(8)
小児希少固形がんの疫学
……………中田佳世・松田智大・宮代 勲……816(8)
疾患登録……………加藤実穂・瀧本哲也……820(8)
病理診断……………大喜多 肇……824(8)
画像診断……………田波 稔……828(8)
分子標的治療とゲノム医療
……………田尾佳代子・市川 仁……832(8)
ゲノム解析と遺伝性腫瘍……………中野嘉子……838(8)
胆道閉鎖症に発症したがん……………佐々木英之……843(8)
小児がんの胎盤転移……………羽賀千都子……847(8)
がんの母子移行……………荒川 歩……851(8)
副腎皮質腫瘍……………加藤実穂
北薊育美・義岡孝子・米田光宏……854(8)
臍芽腫……………宮地 充……858(8)
ラプドイド腫瘍の診断と治療……………勝見良樹……863(8)
胸膜肺芽腫
……………三藤賢志・池田修斗・佐々木 航
橋本拓朗・銭谷成剛・高間勇一
藤崎弘之・井上 健・佐々木隆士……871(8)
軟部腫瘍……………孝橋賢一・木下伊寿美……875(8)
甲状腺がん……………薄井佳子……879(8)
食道がん……………高橋正貴
岡本健太郎・前川貴伸・米田光宏……883(8)
大腸がん……………川野孝文
杉田光士郎・高田 倫・緒方将人
岩田祐実子・村上雅一・春松敏夫
大西 峻・武藤 充・家入里志……887(8)
GIST……………鮫島由友・福澤宏明・尾藤祐子……894(8)
Wilms 腫瘍(腎芽腫)……………大植孝治
西塔翔吾・樋渡勝平・野瀬聡子……899(8)
■小児期精巣関連疾患の診断と治療
精巣の発生と発生異常……………生野 猛……912(9)
停留精巣……………神野 雅
豊 未都樹・春名晶子・杉多良文……916(9)
腹腔内精巣……………西 盛宏・林 千裕……920(9)
消失精巣と nubbin
……………益子貴行・矢内俊裕・東間未来……924(9)

移動性精巣と挙上精巣

- ……………大橋研介・吉澤信輔・杉原哲郎……928(9)
精巣捻転……………吉野 薫・久松英治・田島基史……932(9)
精巣付属小体捻転(精巣垂捻転・精巣上体
垂捻転)
……………西尾英紀・水野健太郎・林 祐太郎
松本大輔・加藤大貴・丸山哲史……937(9)
精巣微細石灰化
……………浅沼 宏・岩佐 俊・大家基嗣……947(9)
重複精巣……………守屋仁彦・日向泰樹・田辺和也……950(9)
異所性精巣……………佐藤裕之……953(9)
Spleno-gonadal fusion(脾性腺癒合)
……………山内勝治・米倉竹夫……957(9)
急性精巣上体炎……………松井 太・田中俊光
矢下博輝・大嶋浩一・松本富美……962(9)
IgA 血管炎と精巣炎……………岡 政史……965(9)
交叉性精巣転位・Müller 管遺残症候群
……………山田和歌・金森 豊……968(9)
完全型アンドロゲン不応症と鼠径ヘルニア,
性腺摘出のタイミングについて
……………金森洋樹・山田洋平・佐藤武志
藤野明浩……972(9)
精巣低形成……………金城健一・藤澤泰子……976(9)
精索静脈瘤……………長谷川雄一……981(9)
ナットクラッカー症候群(左腎静脈捕捉症
候群)……………松野大輔・馬場晴喜・本間澄恵……985(9)
精巣胚細胞腫瘍……………川久保尚徳・田尻達郎……990(9)
精巣性索間質性腫瘍……………菱木知郎……993(9)
傍精巣横紋筋肉腫……………木下義晶……997(9)
転移性精巣腫瘍……………加藤元博……1000(9)
精巣外傷……………矢内俊裕・益子貴行・東間未来……1003(9)
■喉頭・気管病変 治療の工夫と予後
喉頭軟弱症の治療アルゴリズム……………紫野正人……1016(10)
喉頭軟弱症の外科治療と長期予後
……………山本修子……1021(10)
先天性気道閉塞症候群(CHAOS)の
診断と対応
……………金森 豊・石丸哲也・宮寄 治……1026(10)
安全な気管切開の方法と管理……………杉山庸一郎……1032(10)
小児気管切開術の合併症とその対応
……………有本友季子……1036(10)
喉頭気管分離術 術式の選択……………岡崎鈴代……1042(10)
皮弁形成による喉頭気管分離術の利点
……………矢本真也・三宅 啓・野村明芳
大林樹真・菅井 佑・根本悠里
津久井崇文・山城優太郎・福本弘二……1047(10)

喉頭顕微鏡下手術（ラリンゴマイクローサー ジェリー）	福本弘二	1052 (10)
声門下嚢胞の治療戦略	大西 峻・連 利博・武藤 充 岩元祐実子・緒方将人・高田 倫 祁答院千寛・村上雅一・杉田光士郎 春松敏夫・川野孝文・家入里志	1055 (10)
声門下腔狭窄症に対する partial cricotracheal resection (PCTR) 手術と長期予後	津川二郎・吉村翔平・辻 恵未 服部健吾・西島栄治	1060 (10)
声門下腔狭窄に対する肋軟骨移植術と長期 予後	古田繁行・大山 慧・川口拓哉 西谷友里・工藤公介・渡邊春花 森田康太郎・新開統子・北川博昭	1065 (10)
声門下腔狭窄に対する耳鼻科的アプローチ	守本倫子	1070 (10)
声門下腔狭窄症に対する内視鏡治療	辻 恵未・服部健吾・津川二郎 吉村翔平・西島栄治	1076 (10)
気管軟化症に対する治療アルゴリズム	畠山 理	1082 (10)
気管軟化症に対する新たな外科治療戦略 （気管外ステント術から気管前方・後方 固定術まで）	新開真人・望月響子 北河徳彦・臼井秀仁・近藤享史 川見明央・盛島練人・田中聡志	1086 (10)
大動脈つり上げ術の現状とその適応	花木祥二郎・片山修一・仲田惣一	1091 (10)
先天性気管狭窄症に対する治療アルゴリズム	小野 滋	1096 (10)
気道狭窄に対するステント留置の現状	宮原 聡・白石武史・廣瀬龍一郎 佐藤寿彦	1101 (10)
先天性気管狭窄に対する slide tracheoplasty 術式の工夫	森田圭一・松久弘典 土井一記・竹内雄毅・畠山 理	1107 (10)
先天性気管狭窄に対する slide tracheoplasty 術後トラブル	下高原昭廣 下島直樹・富田紘史・廣部誠一	1111 (10)
先天性心疾患に合併する気管狭窄に対する 治療アルゴリズム	下島直樹 下高原昭廣・富田紘史・廣部誠一	1114 (10)
先天性気管狭窄に対する slide tracheoplasty 長期予後	中谷太一 森田圭一・横井暁子・畠山 理	1118 (10)

気管無形成 最近の治療と予後	奥山宏臣	1124 (10)
再生医療による気道再建の展望	古村 真	1128 (10)
■検査・処置・手術の合併症：予防と対策		
検査・処置		
画像診断：放射線被曝と防護	宮壽 治	1140 (11)
小児の血管造影, IVR における合併症や その予防	藤川あつ子・三村秀文	1144 (11)
上部消化管内視鏡検査・処置	中山佳子	1148 (11)
下部消化管内視鏡検査・処置	十河 剛	1152 (11)
気管支鏡検査・処置	長谷川久弥	1157 (11)
Blood access—中心静脈カテーテル—	上村義季・松本正太郎	1164 (11)
小児人工呼吸器	梅津昭宏	1169 (11)
手術・治療		
内視鏡外科手術	世川 修	1175 (11)
気管・気管支手術	尾藤祐子・大片祐一・富岡雄一郎 中井優美子・鯨島由友・高成田祐希 亀岡泰幸・岩渕瀬怜奈・口分田 啓	1180 (11)
肺・縦隔手術	下高原昭廣・富田紘史・廣部誠一	1186 (11)
横隔膜の手術	臼井規朗	1190 (11)
食道閉鎖症手術	望月響子・近藤享史 臼井秀仁・北河徳彦・新開真人	1196 (11)
胃食道逆流手術	森 昌玄 梅山知成・小松崎尚子・堀江貴哉 大泉亮太郎・出縄康次・山本裕輝 鄭 英里・平川 均・渡辺稔彦	1200 (11)
術後腸閉塞	田井中貴久・城田千代栄・住田 互 牧田 智・檜 顕成・内田広夫	1205 (11)
急性虫垂炎	大矢知 昇・沼野史典	1209 (11)
Hirschsprung 病	松浦俊治・福田篤久 川久保尚徳・永田公二・田尻達郎	1213 (11)
鎖肛手術	佐藤正人 園田真理・岩出珠希・遠藤耕介	1216 (11)
総排泄腔遺残症	黒田達夫	1220 (11)
胆道閉鎖症手術	城田千代栄・檜 顕成・田井中貴久 住田 互・牧田 智・安井昭洋 加藤大幾・前田拓也・合田陽祐 石井宏樹・太田和樹・内田広夫	1224 (11)

胆道拡張症

- ……杉田光士郎・岩元祐実子・緒方将人
高田 倫・村上雅一・春松敏夫
大西 峻・榊屋隆太・川野孝文
武藤 充・中目和彦・家入里志……1228(11)
- 臍帯ヘルニア・腹壁破裂……古田繁行
大山 慧・田中邦英・新開統子
川口拓哉・西谷友里・森田康太郎……1234(11)
- 悪性腫瘍に対する放射線療法……上原秀一郎……1240(11)
- 悪性腫瘍における化学療法……照井慶太……1244(11)
- 泌尿器科手術
……矢内俊裕・益子貴行・東間未来……1248(11)

■これならわかる性分化疾患

基礎知識

- 性分化疾患とは……鹿島田健一……1264(12)
- 性染色体性分化疾患……糸永知代……1270(12)
- 46,XY 性分化疾患……濱島 崇……1277(12)
- 46,XX 性分化疾患……宇都宮朱里……1285(12)

初療・診断

- 初期対応……宗永健志・長谷川奉延……1290(12)
- 診断の手順……石井智弘……1294(12)
- 画像診断……西川正則……1300(12)
- 内視鏡（腹腔鏡）による診断……佐藤裕之……1306(12)
- 遺伝カウンセリング……小川昌宣・万代昌紀……1310(12)

治療

- 内科的対応……菅野潤子……1316(12)
- 性腺摘除術の適応と対応
……松本富美・木山祐亮
矢下博輝・大嶋浩一・松井 太……1320(12)
- 内性器摘除術……上仁数義
森 友莉・中川翔太・小林憲市
森谷鈴子・影山 進・河内明宏……1324(12)

女性外陰形成術

- ……水野健太郎・西尾英紀・林 祐太郎
松本大輔・加藤大貴・丸山哲史……1331(12)
- 造陰術……吉野 薫・久松英治・田島基史……1337(12)
- 造陰術：婦人科の立場から
……佐藤壮樹・志賀尚美……1341(12)
- 男性外陰部形成術……守屋仁彦・日向泰樹……1346(12)
- その他**
- 多診療科連携……小林暁子……1352(12)
- 卵巣組織凍結……宮腰藍衣・村瀬真理子……1358(12)
- 精巣内精子採取術……岩端威之・大坂晃由
杉江美穂・小泉智恵・岡田 弘
杉本公平・宋 成浩・齋藤一隆……1363(12)

(症 例)

- Staphylococcus aureus* による反復性膀胱炎を
呈し膀胱鏡検査で確認できた小児膀胱異
物の1例
……藤井喬之・佐藤裕之・佐藤温子
石塚悦昭・井澤水葵・森本勇樹……238(2)
- リンパ管奇形と鑑別が困難であった前頸部
皮下気管支原性嚢胞の1男児例
……大浜和憲・野村皓三・北野悠斗
川原洋平・丹羽秀樹……1252(11)

(追 悼)

- 駿河敬次郎先生を偲んで……長島金二……576(5)
- 駿河敬次郎先生を偲んで……大谷俊樹……578(5)

(特別寄稿)

- 華岡流医術における鎖肛治療……上野 滋……796(7)